

10年目に向けて

理事長 金 登美一

開所して9年目になる。今から40年前は措置法の下に障害者は施設を利用していた。あなたのような人はあの施設を利用してくださいと行政からの指示に従う措置法であった。近隣には施設はない、遠くの山里にあり常に満室、利用するのが難関時代であった。この頃から個人やグループが施設を立ち上げ運営する方式が目立ってきた。運営費用は基本自前であり苦労の日々だった。やがて2003年支援費制度に変わった。障害者と施設が契約し、利用する費用を行政が助成する制度に変わった。まだまだ施設も不足であった。各市町村からの助成金にも大きな格差があった。なにをやるにも都会は財政が豊かで、障害者の大会に行くと「地方の皆さんは行政へのお願いが足りないからだ、もっと頑張れ」と叱咤激励されると言うよりなじられていた。それなりに秋田市に要望書提出に行ったものだ。市長が直接対応の時もあった。それから程なくして脱施設問題が大きく取り上げられた。地域にグループホームや施設ができてきた。西目のココニー縮小も話題になった。やがて自立支援法（2006）に切り替えられ、さらに今の総合自立支援法になった。国からの助成金方式が統一されかなり格差は解消されたが、実態は依然として東京神奈川や大阪京都など地元行政からの助成金が多く格差は縮まっていない。

つい最近まで障害者は障害の種別により目指す施設も違っていた。現在は障害種別の壁もなくなった。ただ障害の程度や目指す将来像によって利用者が施設を選べる。逆に施設側も利用者を選ぶことになる。障害の種別、程度、目指すもの、能力、人間性等々が絡んでここにアンマッチが生じてしまふ。心痛いものを感じる時がある。重い人を多くすると支援要員が多く必要になってくる。必然的に人件費が増大する。ほかには支援者側の支援技術が追いつかなくなる。事業所の支援方針が明確でないと利用者に迷惑をかけることになる。施設の方角をはっきりさせるべきであろう。

ほのぼのは「人を育てる職場」と私は職員を鼓舞している。だがなかなか難しい問題である。来年は節目の10年目。まだまだ学びながらの運営は続く。

となりの芝生

セントシェアハウス株式会社
代表取締役 土岐 一洋

私は、秋田市新屋でサービス付き高齢者向け住宅『みんなのまち』と由利本荘市岩城でショートステイ『みんなのまち岩城』を運営する会社を経営しております。

ほのぼののみなさんには施設外就労として、弊社が運営しております2カ所の高齢者福祉施設のお掃除を週3日お願いしております。毎回、指導者の方といっしょに一生懸命お掃除をさせていただいています。福祉施設は常に清潔であることが大切なのですが、普段の高齢のご利用者さまの日常生活のお手伝いをしながらの施設内の清掃をキッチンで行うことはとても大変な状況でした。おかげさまで2つの施設はいつもきれいになっています。本当にありがとうございます。

昨年の暮れに一通のお手紙を頂戴しました。施設外就労をして2年が過ぎ掃除の仕方も覚えたことや居室内の清掃で洗面台やトイレをきれいにしてお利用者さまに喜んでもらえたことなどが書かれていました。そして、弊社の職員やご利用者さまへの御礼やインフルエンザの季節なので気を付けてください等々、真心のこもったものでした。この他にも、ほのぼのさんでの活動について等々、楽しそうに書いてくださっていました。素直な気持ちで書いてくださった温かいお手紙をありがとうございます。

みんなのまち岩城とほのぼの岩城さんは同じ敷地内にあります。弊社2店舗目となる事業所の建物を購入した際に、ほのぼのさんの2店舗目を同じ場所に開設しませんかという私の強いお願いに対し、理事長さんが考えに考えて同意してくださったことを覚えています。その後の理事長さんの行動力の凄さは目を見張るものがありました。結果として行政機関の承認を得て、それぞれの2店舗目が出来上がったという訳です。

NPOほのぼののみなさんにはいつも感謝の気持ちであります。これからも末永くよろしくお願い致します。

令和2年度

通所パーティ

4月1日(水)、ほのぼのにて通所パーティを行いました。当日、なつみさんは真新しいスーツに身を包み、社会人生活を楽しみにしている様子でした。今年は新型コロナウィルスの影響で通所式はできませんでしたが、皆で豪華な焼肉弁当を食べ、なつみさんの仲間入りをお祝いしました。

学生生活と大きく環境が変わり戸惑うこともあるかもしれませんが、先輩や職員と力を合わせて仕事を頑張りましょう。そして、ほのぼのの先輩たちは社会人のお手本となるよう努力しましょう。



活動紹介

令和2年2月から7月まで、ほのほで行われた活動をご紹介します。



バレンタインデー&ホワイトデーレク

White Day

2月19日(水)、バレンタインデーチョコつかみ取り大会、3月14日(土)、ホワイトデーお菓子つかみ取り大会をほのほにて行いました。少しでもたくさんのお菓子を獲得しようと、男性も女性も白熱した大会となりました。特別賞は、今年から獲得がさらに難しくなり、カードを引いて当たりが出ないと獲得できないシステムとなり、皆苦戦していました。その分チャンスもあり、大盛り上がりでした。



今年、新型コロナウイルス感染防止のため、千秋公園桜まつりもカラオケ会も中止。そんな中、花見気分を楽しんでもらおうと4月28日(火)、ほのほの花見弁当会を行いました。豪華でボリュームみなお弁当に皆の気持ちは「春爛漫」でした。

花見弁当会



健康診断



6月10日(水) 女子、6月24日(水) 男子、7月8日(水) 岩城が白根病院で健康診断を

新職員紹介



職業指導員

有馬 ひかりさん

3月より勤務させていただいております。一日でも早く、会社の一員として会社に貢献できるよう、利用者様が楽しく過ごしていただけるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



相談員

佐藤 望さん

7月より勤務させていただいております。皆様と健やかで充実した時間を共有できるよう努めて参ります。これからどうぞ宜しくお願いいたします。

ハピネッツ来所



6月23日(火)、秋田ノーザンハピネッツの野本建吾選手と古川孝敏選手が、秋に行われる大会の報告のため来所しました。選手たちと記念撮影をしたり、サインをいただいたり、握手をしたりで作業室内は興奮に包まれていました。大変な状況の中、激励に来ていただき本当にありがとうございました。



行いました。健康管理は社会人として重要なことです。この機会に改めて生活習慣を見直し、再検査等の通知があった場合は各ご家庭でしっかりと対応し、病気の芽を早めに摘んで、毎日元気に仕事ができるようにしましょう。



— うれしいお知らせ —

2020年度公益財団法人JKA(競輪)様から福祉車両をいただきました。8月26日に引き渡しを受け早速「ほのほの岩城」の利用者送迎に活用させていただきました。荷物もスムーズに運べてとても便利です。広い内装に新車の香り、利用者さんは大喜びでした。今後は交通安全に気をつけて長く大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。



マスクをいただきました

★4月10日(金)、厚生労働省から福祉施設向けにたくさんの布マスクが届きました。



★7月10日(金)、秋田市役所及び社会福祉協議会から布マスクをいただきました。



ありがとうございました!

ご協力いただいた方のご紹介 (敬称略)

皆様からのご支援・ご協力に心から感謝致します。ありがとうございます。

高橋 和子 澁谷 祐子 斉藤 悦子
加藤ひとみ



5/26 渡部 恒様より寄付金をいただきました。

7/15 鈴木 陽子様よりアルコール消毒液をいただきました。

編集後記

新型コロナウイルスは、未だに終息せず、さまざまな影響を受けているかと思いますが、いかがお過ごしでしょうか? ほのほでも行事を自粛し、会報でお知らせできる内容も少なく、今回はA4サイズに縮小させていただきました。そんな中、ひとつ面白いお話があります。会報の表紙にお気づきでしょうか? この度、ほのほのロゴマークが決まりました! ほのほが皆様に親しまれやすい笑顔のマークとなっております。皆様の支えがあつてのほのほです。これからもよろしくお願い致します。